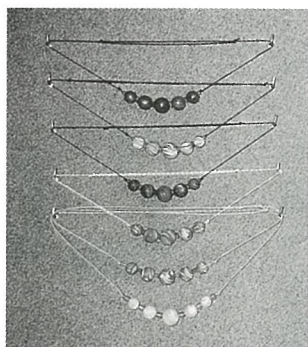


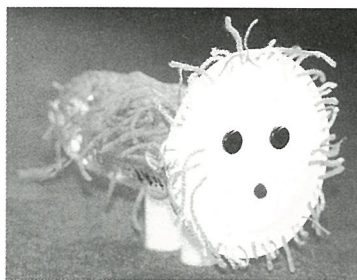


4年 鈴木 綾さん

※粘土やビーズ等を使った世界にたった一つのオリジナルアクセサリです！



『世界にひとつのアクセサリー』



『ライオン』



1年 飯田 飛鳥さん

※ペットボトルでライオンを作りました。毛糸を一本一本はるのがたいへんでした。



あつまれみんなの力作



『おそうじハムちゃん』



5年 関 みなみさん

※電池を入れると動きます。紙粘土でかわいいハムスターの顔になりました。よつにしました。



2年 野村 直也くん

※もぐらのほった道に、家などいろいろなものを書いたのが楽しかったです。

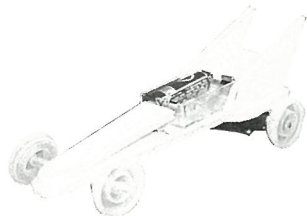


『もぐらのほった道』

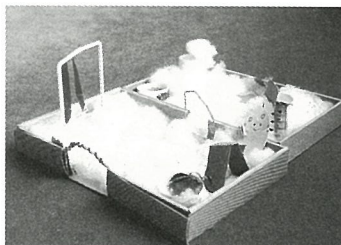


6年 伊藤 昇くん

※モーターのコードなどを見えないようにくふうしました。



『モーターカー』



『雲の上の公園』



3年 衆原 可奈さん

※遊んでみたい雲の上の様子です。明るくなるようにピースを雲にのせました。



ひかり俳壇



大木 静水 (篠本)

金婚の慶事となりし涼新た

敬老日である。金婚の祝賀は人生最大の慶事であり作者は過去のわが身と重ねて祝った

川島 通則 (二又)

新涼や祝ぐ家の青畳

新涼と青畳が祝宴の席を清々しく演出している。い草の香の漂いまで感じられてくる

越川 義則 (二又)

焦がれ人新涼の駅に降りたちぬ

幼い頃の思い出は誰れにもある。意表を突いた上五の大胆な措辞が逆に情感を深めた

秋山 一泉 (栢田)

一葉落つ新居に住い五十年

川島 孝夫 (二又)

新涼やどさっと届く旅のピラ

土屋 義昭 (虫生)

この土地に生きむと決める涼新た

大谷 武彦 (木戸)

土用浪崩れて包む岩の肌

伊藤 定男 (尾垂)

新涼の風に囁く葉ずれかな

大木 素風 (二又)

新涼や球児の気合響く朝

椎名しげる

評者吟 秋涼し大吊橋のど真ん中